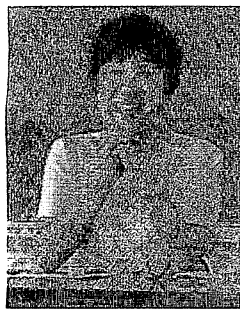


出会い ふれあい 助け合い

サロンあべの

VOL.193



井上礼子さん

平成14年6月15日(土) 〈サロン・あべの〉6月の出合いは、「サロン・あべの」紙の音訳テープ作りでサロン活動を支えていただいている音訳ボランティアグループ「糸でんわ」代表の井上礼子さんにお

〈サロン・あべの〉6月の出合い

声で 読書のお手伝い

話を伺いました。

・活動のきっかけ

平成6年、「あべの学習センター」で朗読講習会に参加した。10回の講習を終えたが、それだけでは力不足は否めず、有志が集まって、平成7年より基礎学習の勉強を続ける中、「あべのボランティア・ピューロー」に登録。(サロン・あべの)とも出合い、「はあとが、はろー!」の音訳テープを作る。

・グループ名の由来

平成8年10月に音訳ボランティアグループ「糸でんわ」を結成。グループ名を「糸でんわ」としたのは、音訳は言葉や文章を音に変える作業であるけれど、聞く人には生の声で、「あなたの耳元に声を届けたい」との思いから「糸でんわ」に自分たちの活動の思いがマ

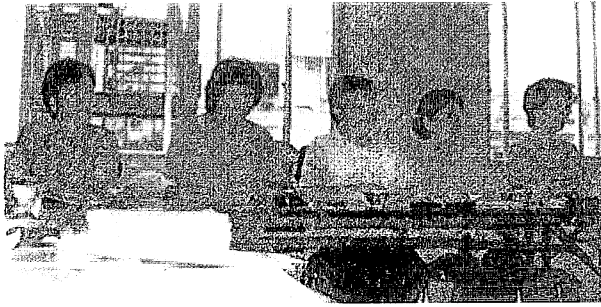
ツチしているとの考えから名づけた。

・朗読と音訳の違い

朗読は、原作のイメージを朗読する本人が内容をふくらませて表現する。その表現を含めて聞く人が楽しむものであるが、音訳は、原本をそのまま音に変えて、書いてあることを主観や感情を入れずにそのまま伝える。

・音訳の学習

現在も技術向上のため、月2回先生について勉強を続けている。これから始めようとする時には、日常を払拭し、体を柔らかくほぐし、腹式呼吸で、お腹から声を出す発声練習をする。発声は体全体が発声源、正しい姿勢で立ち、お腹の底から声を出す。発声練習では十分声を出すが、音訳の時は6〜7割の声で録音するのがよい。



いつもの練習ぶりを披露・・・

口の体操では「あ・い・う・え・お」と正しい口形で発声する。この日、参加された「糸でんわ」のメンバー数人で、北原白秋の詩「五十音」と「早ことば」を教材にして、普段の練習ぶりを披露していただいたが、その声の迫力に、参加者一同圧倒された。ちなみにその教材の詩は現役のアナウンサー

も練習に使われるとか・・・

音訳の基本

アナウンサー読みが音訳の基本で、全国共通のアクセントで読むことを身につける。例えば「おおさか」。関西では「おーさか」と言ったりしているが、標準語の原則は1番目の「お」と2番目の「お」の音の高さが違う表現をする。次に気をつけることは、「やぎ」「うさぎ」など「ガ行」のつく言葉を柔らかく聞かせるために鼻にぬけるように読む「鼻濁音」の表現に気をつけている。また、「きく」「くすり」など表現するのに母音を使わないのが、おしやれな表現方法。「学校の先生」という場合でも長音をはっきり言つて、ピッチ(高低)をつけたりする。段落が変わり、内容が変わる場合、「間」を取ることが大切。そのため普段の基礎練習が欠かせない。

音訳テープが出来るまで

「サロン・あべの」紙の場合、毎月交代で音訳、校正、ダビング・発送の3人1組で担当している。メンバーの自宅で音訳専用機を使つて録音しているとはいへ、どうしても生活音が入ってくる。そんな中でそれぞれが静かな時間帯を見つけて録音する。音訳テープを作った人は、校正者にそのテープを渡して内容をチェックしてもらい、発音や読みなど校正箇所があれば内容を訂正。出来上がったテープは、発送担当者がダビングして希望者へ随時発送していく、という段取り。

休憩後、手作りの糸電話で参加者たちと会話を楽しんだ後、参加者の感想と質問を伺った。

「最近のテレビのしゃべり言葉は速いので、聞きとりにくい」

「あらためて、音訳テープ作りの大変さがわかった」

「サロンに参加出来ない時も、音訳テープを聞いて、参加した気分になれる。毎月、音訳テープが届くのを楽しみにしている。今日、音訳をしてもらえる方と話をする事が出来て、とてもうれしい。新しい発見と楽しみが増えた」

など、音訳テープを利用されている方の生の声が聞かれ、「糸でんわ」の方々も喜んでくださった。

言葉の大切さと、サロン活動が多くの人たちの理解と協力に支えられていることを実感した(サロン・あべの)6月の出会いでした。

参加者15名(山村貴司)

声で読書のお手伝い

東 百合子

奥田真祐美著「シャンソン手帳」を文通の友から頂戴しまして、読んで行くうちにシャンソンの魅力にはまりました。

真祐美様の歌声をCDで聴かせていただき、その一つひとつの歌の解説をこの本から得て、シャンソンの語りの素晴らしさ、原曲を日本語に訳詞して歌っておられるのが伝わってまいります。CDと本を一つに考えておりました。そんな時、朗読ボランティアグループの「糸でんわ」さんの朗読テープを知り、早速、「シャンソン手帳」と「愛ひとり旅」を聴いてみたいと思い（サロン・あべの）に注文いたしました。ラジオで聴く私の本棚の朗読と同様に、好きな時に聴けるテープは、台所で手作業している時など嬉しいものです。本来は視覚障害者の方のために朗読されたものと思います

が、私も朗読ボランティアグループに所属して町の広報など朗読をしておりますのでよく解るのです。「声で読書のお手伝い」と言われる朗読テープを聴く方が理解度がすすように思います。

一冊の本が九〇分テープ三巻になるので、すから時間的には長いのですが、朗読してくださる方のご苦勞を感じながら聴かせて

「糸でんわ」に感謝

阿倍野区視協 中野咲子

いつの頃からか定かに記憶しておりませんが、「サロン・あべの」紙の内容を記録したテープがわが家にも配達していただいております。

朗読グループ「糸でんわ」。この優しいネーミングは忘れかけた幼い日々の思い出に、呼びかけられているような安らぎを感じさせてくれます。

もらっています。もう一度聴きたい部分は巻き戻してゆっくり聴けます。快い音調で楽しく読書のお手伝いをしつかりしてもらっております。

「糸でんわ」の井上礼子様のお話を楽しみにしております。ありがとうございました。

私たち視力障害者は朝の目覚めから、夜眠るまで、声に助けられ、音に支えられて生活していると、言っても過言ではありません。同じ目的で集まった部屋で、席の離れた知り合いと視線を合わせてニツコリと会釈。これは視力のある場合で、私たちは隣り合って座っていても、声が、言葉がなければ、ふれ合いの中に入っていくことが出来ません。

「糸でんわ」のお陰で、すばらしいサロンの行事もつぶさに知ることが出来、私たちにとつて大変勉強になっております。今後ますますのご活躍を心から願っております。

墨字訳：石田律

誰でも参加できる場所へ

第2回

コミュニティガーデンの歴史

林 典生

今回は欧米でのコミュニティガーデンの歴史について話をします。アメリカにおけるコミュニティガーデンの起源はヨーロッパ系移民によって19世紀末期につくられたのであるが、主に不況や戦争における大都市部における食糧供給(例：じゃがいも畑、勝利の庭)が目的であったと指摘している。これは日本における戦時中の大都市部におけるさつまいも畑と同様の状況である。

次回以後の事例に出てくる現在のコミュニティガーデンの姿になったのは1970年代のキング牧師に代表される人権運動の高まり(ニューヨークの場合)と有機農業運動(カリフォルニア

州の場合)の高まりにより、複合的に融合してきたのである。今のコミュニティガーデンの運動はアクセシビリティ(ユニバーサルデザイン・バリアフリー)とサステナビリティ(地球環境及び生活環境の持続性)及びアイデンティティ(自分らしさの発揮)がキーワードになっている。

さらに具体的なコミュニティガーデンの内容はアメリカのコミュニティガーデン協会のホームページが運動の普及推進のために設けられており、アドブス(<http://communitygarden.org/>)その中にコミュニティガーデンの効用や活動の仕方について記されている。

まずコミュニティガーデンの16の効用として、地域のリーダーを養成する。食料を自分で作ることでできたり、家計を助ける。犯罪を減らす等でより健康な地域社会を創る。市民参加を行う機会を与える。社会的相互関係や政治参加等を促すのに必要な議論する能力を付ける。空気冷却・浄化作用や省エネルギーを可能にする。酸素供給源として都市の肺としての機能を持つ。職業訓練の機会になる。地域住民のストレスを減らす。ホームレスの人が食料を作ることを通じて、自尊心をつけ

ることができる。民族が持つ文化的遺産を保存する。子供が活動したり、学習したりする場になる。リサイクルの場になり、家計を助ける。休息することで人々の生産性を向上させる。身体的な運動の場になる。忍耐力を付ける場になる。とその中で記されている。

活動の仕方は計画書の作成、場所選び、場所の準備と発展、庭の組織、保証書の様式、新しいコミュニティガーデンの立ち上げ方、コミュニティガーデンの運営の方法、問題解決法、社会資源の9つの項目があり、具体的に記されている。

イギリスの場合はアロットメント、ドイツの場合はクラインガルテン、フランスの場合は福祉庭園と呼ばれており、それぞれ名称が異なるが、機能としてはアメリカのコミュニティガーデンの機能と全く同じである。

次回から、アメリカのコミュニティガーデンの事例を紹介しながら、場所は空き地であれば、種類を問わずに多種多様な活動を行っている現状を認識することを通して、日本での現状を比較すると共にコミュニティガーデン活動が普及し、根付くためにはどうしたらいいのか、考察して行きたい。

★時と引き換える

日々を生きることが、時と引き換えに何かを得るといふことかもしれない。休日の午後を利用して一冊の本を読む。それは午後の数時間と引き換えに、ある量の知識を頭のなかに入れたということになる。

その点、時は金銭と似ている。お金も何かに引き換えるものとしてある。何に

も引き換えることができない紙幣は、破綻した国の紙幣と同じように、ただの紙くずにすぎない。

引き換えることができない時間もある。それは死んだあとの時間だ。死んだあとの一年の時間は、生きている間の一分間の時間ほどの価値もない。なぜなら死んでしまつては何もできないからである。

お金と時間とは、このように似た点があるが、異なるところもある。たとえば、お金は貯めることができるが、時間はできない。病に伏(ふ)して思うようにできない時間だから、これを貯めておいて、元気がなつたときに、その時間を使おうということとはできない。引き換えたくても何と引き換えていいのかわからない時間もある。それは退屈してい

るときだ。老いた目から見れば、多くの財産を手放しても取り戻したい若い日々も、愚かな騒々しさとともに空しく費やされているものだ。

時間と引き換えに手に入れたいもの、あるいは創り上げたいものを考えたとき、残された時間が決して充分ではないと思え始めたなら、私たちは自身の死を思いながら生きていく人となる。

私が本を捨て始めたのは、そんなことを考えてからのことだ。いつか読もうと思つていて、とつておいたのだが、その読む時間は永遠にないだろうと思ひ始めた。

さらに本棚を見ながら、このうちいくつかを選ぶしかなく、このうちいくつか。夏休みに、どの本を読めばいいだろうか。それを考えることは、言い換えれば、どの本を諦めるかということだ。つまり、引き換える時間が少なくなつ



朗読テープのご案内

朗読グループ「糸でんわ」のご協力で〈サロン・あべの〉紙第192号の録音テープが出来ました。

■朗読テープ文庫

- (a) 〈サロン・あべの〉紙は、第1号より第192号までそろっています。
- (b) 〈サロン・あべの〉十周年記念誌「はあとが、はろー!」
- (c) 絵本「未知の記憶」(作・絵 中川勝彦)
- (d) 「ラジオたんば」放送「〈サロン・あべの〉平成7年5月の出会い」放送分(30分)
- (e) エッセー集「逃げた『ヨナ』～ボランティア活動の周辺～」(岡本栄一著＝糸でんわ音訳)
- (f) 「キミたちだけじゃ困るんだ～身障者だけで旅した十余年～」(山田誠1995・2・22著＝糸でんわ音訳)
- (g) 「金子みすずへの旅」(島田陽子著＝糸でんわ音訳)
- (h) 「夕やけ空のオニヤンマ」(牧口一三著＝糸でんわ音訳)
- (i) 「ガベちゃん先生の自立宣言」(曾我部教子著＝糸でんわ音訳)
- (j) 「セルフヘルプグループ」(岡知史著＝糸でんわ音訳)
- (k) 「名物 天王寺かぶら」(猿田博創作 難波利三監修＝大阪市立天王寺図書館制作)
- (l) 「知らされない愛について」(岡知史著＝ぼけっと音訳)
- (m) 「愛 ひとり旅」(奥田真祐美著＝糸でんわ音訳)
- (n) 「奥田真祐美のシャンソン手帳」(奥田真祐美著＝糸でんわ音訳)
- (o) 「もうちょっと知っとく? 私たちの阿倍野」(難波りんご著＝糸でんわ音訳)
- (p) 「猫とシャンソン」(奥田真祐美著＝糸でんわ音訳)
- (q) 「ほんの少しの神に近い部分」(岡知史著＝糸でんわ音訳)
- (r) 「動くしずかに」(河野勝行 編・著＝糸でんわ音訳)

ご希望の方には、ダビング、または貸し出しをしますので、富田(☎06・6691・1028)まで。

てきたことに気づいたなら、何をしないかを決めなければいけない。もちろん、大事なことから優先して始めたら良いのだが、あまり意味のないことでも目の前にあれば、つい時間を費やしてしまうものだ。スイッチを入れたままのテレビの前で何時間もすごしてしまうように。

ただ、散財をして気が晴れることもある。贅沢な宿に泊まり、味もよくわからないのに豪華な食事を注文し、一晩でいくら使ったと考えると、金持ちになつたような良い気分になる。キャンセルに浪費する人も、こういう感覚を楽しんでいるのだろう。

私も時間を捨てるように使うことがある。永遠に生きる人のように時間を浪費するのである。たとえば、ただ、だらだらと過ごす。ポーツとして何もしないで座つたり、寝転んだりしている。ここでも不思議な爽快感は残っている。

金銭を浪費すれば貯金が気になるが、時間はどれほど無駄に使つても、生きていくかぎり明日はある。だからこそ時間に限りがあることを忘れてしまう。

頭蓋骨のことを「メントモリ」ということがある。「メントモリ」とは「汝が死ぬべき存在であることを忘れるな」というラテン語だそう。頭蓋骨の模型でも部屋に置いておこうかと冗談半分に思い始めている。(知)

植物あれこれ

第四十二回

山口康二郎

小型ピオトープ

うさぎ追いし かの山
小ぶな釣りし かの川

連日30度を越す暑さに早くも参っている私です。何とか涼しくしたいもので行きつけの花屋さん立ち寄ったところ、店のメインテーブルに「ピオトープ」と書かれた水性植物の寄せ植えが並んでいました。いずれの植物も私の子供の頃には自然にあふれていたごく普通の雑草だったはずと思いつつも、つい、懐かしくひきつけられてしまいました。

ピオトープの本来の意味は、自然環境を守り、復元しようとする運動で、全国あちこちで試みられています。中には、ただ、川や池を作って魚を入れれば、ピオトープだと、安易な考えもあるように

思います。

さて、店先に並んだ「小型ピオトープ」はどんなものかというところ、10号鉢程度の水鉢に、中央にトクサやフトイなどを植え、浮草を浮かべたものが基本ですが、何とも言えない懐かしさを感じます。私も数年前、ホテイアオイをもらって、育てていますが、梅雨に入って急に緑が濃くなってきたので何かと組み合わせたいと、思っていましたので、余計に興味をそそられたのかも知れません。作り方は、いたって簡単で、深さ20センチ前後の容器に水を張り、水性植物を2、3寄せ植えし、土を盛って島のように植えるだけ。出来ればそこに、浮草を浮かべれば、より楽しいものになります。しかし、これではピオトープとは口が裂けても言えません。循環型の自然には最低生き物が住んでいなければなりません。そ

して小さいといえども自然の営みが必要なのです。一番ポピュラーなのは、メダカを入れることです。水溜まりには、蚊が卵を産み付け、ボウフラがわきます。メダカがそれを餌に育ちます。そのメダカの糞は、植物の肥料になります。という循環が成立します。あまりにも小さい自然ですが、われわれがかつて眼にした自然へのあこがれを垣間見たように心が少し和みました。



美智子のこんな話

岸田美智子

ワールドカップの影響はどうでしたか？

お騒がせなワールドカップの試合が長居競技場で行われました。

私にとって長居公園は生活エリアにあるのです。

リハビリを受けている南大阪療育園に行くための最短距離でもあるので、一週間に二、三回は長居公園のなかを横切ります。が、試合実施の六月七日〜六月二三日まではまったく通行止めになってし

まいりました。私はつきり、歩行者だけは通れるものと思っていました。が、通行許可証のようなものがない人は通れないと言われました。それでも、最初の頃は警備員に南大阪療育園に訓練に通っているの、通りたいと事情を伝えると、警備員にずっと同行される形で通してもらっていました。が、同行してくれる警備員が来るまで二〜三〇分も待たされる始末で、予定時間に大きな影響が出ました。そしてあげくの果て、試合が始まった期間中は、このような理由をいっても通行を断られ、迂回してくださいと言われました。結果的に、私は普段より十五〜二〇分くらい遠回りして四〇分以上歩いて南大阪療育園へ通うことになってしまいました。

その他、交通規制や混雑のために、介助者が時間通り来れるかどうか、とても心配でした。そしてまた、介助者の方も普段より早めに家を出たり、車や自転車を締めて行動してくれたりしたそうです。

ところで、あれほどこわがられていたフリーガンの影響もあまりなかったように、ワールドカップはひとまず成功だったのかなと思います。でも、ワールドカップとは何の関係もない私たち障害者の生活にいろいろ影響を及ぼして、長居での試合は終わりました。そして、いろいろ考えさせられた祭典でした。



感

謝



カンパ・はがき・お茶菓子・単行本・バザー用品のご寄贈、サロングッズの買い上げなど、ありがとうございました。

糸でんわ一同、上野谷加代子、

植松菊雄、大西暉子、岡 賀寿子、

奥田久子、川村明美、西面壮一、

坂井柁予、杉山篤枝、曾根利弘、

田村昌子、辻本浩江、長谷川麻美子、

東 百合子、平岡 太、表谷恵美子、

朴 永基、丸山寿美子、倭 満也子、

その他

靴(くつ)

私は数年ぐらい前まで何とか一人で歩いてきた。その時は三カ月程で靴の先が破れていたが、今は車いすに乗っているために一年たつても古くはなるがどこもいたまない。

この間靴屋の前を通ると、そこのおばさんが「新しい靴が入っていますよ」と声をかけてくれた。だが私は軽く会釈しただけで去って行った。あんなによく買っていたのに靴屋さん泣かせになつてしまったものだ。

ところで先日、新聞を読んでいると「靴内環境歩行改善協同組合」がレーザースキャナーなどを使った足形の測定や中敷き(インソール)の制作など独自の靴づくりを今年のも二月から始めたそう。いわ

晴れのち晴れ

④6

稲垣 恵雄

ゆる従来の巻き尺や物差しで測るのではなく、レーザースキャナーを使い、くるぶしから下の足の形を立体的に計測するのである。このことに関して同組合理事で靴づくり二十年のSさんは、

「足は全身を支えている。足の骨格を考慮した中敷きをつくるのが、全身のバランスを保つことにつながる」と話している。

こうした靴とは別に糖尿病や血行障害に悩む人のためにオリジナル靴を考案されるなど、最近特に「靴内環境」が注目されているそうである。

余談になるが、ハイヒールというおしゃれな靴がある。特に若い女性が多くとカッコイイ！このハイヒールはもとともうんこを踏まないために作られたという。「ウーン！」

電話は早い、
ファックスも
Eメールもある
けど、
こころ伝わる
サロンの絵はがき
がいい。



サロンの絵はがき

五枚一組 一八〇円

元気にビデオ撮り復活

植松菊雄

皆さん、お元気ですか。

私も相変わらず元気で、毎日のように大阪通いをしております。

さて、遅くなりましたが、4月20日にビデオ撮りさせていただきました「あの頃のサロン」ようやく編集が出来ましたので、送らせていただきます。なお、初めにお断りしておきますが、ビデオテープ不良のため、頭から12分ほど録画されておりませんでしたので、カットされています。ご容赦ください。

何年ぶりかで出席させてもらって、皆さんのお元気なお顔を拝見しながら好きなビデオも撮らせてもらって、帰りましたが、当日・翌日ともに疲れは出ませんでした。

私事ですが、晩年家の全焼、妻の急死と続きましたが、周囲の皆さん方の友情に支えられ今日があるんだと喜んでおります。

お知らせ

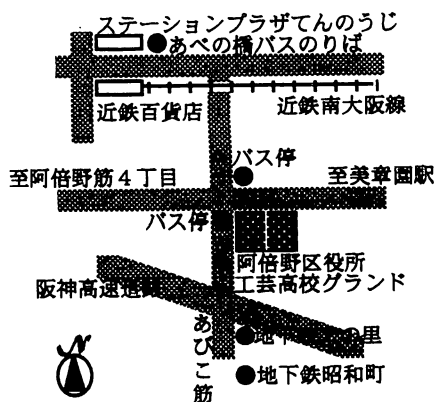
<サロン・あべの> 8月の出会い

日時…8月4日(日) 午後3時～6時
内容…バザーの店「さろん亭」開店
場所…第29回あべのカーニバル会場
「なんでも市」
[大阪市阿倍野区文の里1-1-40
TEL 06-6622-3683]

お願い…家で眠っている品物がありましたら「さろん亭」にご提供いただきますようお願いいたします。

☆皆様と「さろん亭」での出会いを楽しみにお待ちしております。

連絡先…TEL06-6691-1028(富田慶子)



80歳になって、ビデオ関係を一切止めることに決め、機材を友人に譲りました。ところが、昨年6月私の住む団地に、「高齢クラブ」を作ることになり、芸のない私はビデオで皆さんに喜んでもらおうと思った矢先に、日本橋の「シルバーストビデオクラブ」会長が亡くなり、復帰してくれとの要請があり、再度ビデオを持つことになりました。今は「八尾ビデオクラブ」にも入り両所で月3回の例会。「高齢クラブ」役員会1回。Sさんと

は月間20日ほどヘルストンの無料体験、終わってコーヒー飲んで帰るのが日課になっていきます。○
といったところが、私の近況です。
編集部から・・・植松さん撮影のビデオ「あの頃のサロン」は、(サロン・あべの)本来の出会いの雰囲気さがよく出た作品に仕上がっています。サロン文庫に所蔵していきますのでご覧になってください。



サロン隣組ニュース

■「サロン淀川」8月の出会い

日時:8月18日(日)午後1時30分~4時
場所:淀川区民センター「やすらぎ」
大阪市淀川区三国本町2-14-3
内容:終わりのなき旅~障害を受容 新たなる希望へ~
パネラー:赤尾広明氏 (16歳の時に事故で車いす生活となる)
問い合わせ先:淀川区社協(ボランティア・ビューロー)
☎06-6394-2900
E-mail: soraji@risecnet.ne.jp

■「サロン・ひらの」8月の出会い

日時:8月24日(土)午後1時30分~4時
場所:にこにこセンター(大阪市平野区平野東2-1-30)
内容:体験 かき氷づくり
参加費:1人100円
問い合わせ先:平野区ボランティア・ビューロー
大西 ☎06-6795-2200

■「サロン・にし」8月の出会い

日時:8月10日(土)午後1時30分~4時
場所:西区ボランティア・ビューロー室
大阪府西淀川区新町4-5-14 6階(西区役所隣)
地下鉄=西長堀駅4A号出口からすぐ
市バス=地下鉄西長堀駅からすぐ
内容:暑中見舞いの絵手紙を描こう
*筆箱・用具や絵の具のある人は持ってきてください。
ない人は手ぶらで来てください。
会費:なし
問い合わせ先:宮脇 ☎06-4394-5353
FAX06-4394-5354

■サロン『アイ』8月の出会い

日時:8月10日(土)午後1時30分~4時
場所:生野在宅サービスセンター
「おかちやま」2階ボランティアルーム

大阪市生野区勝山北3-13-20

内容:速読と頭の体操
パネラー:泉谷知世氏
会費:なし
問い合わせ先:生野区社協(ボランティア・ビューロー)
☎06-6712-3101

■《てくてく・すみよし》8月の出会い

日時:8月3日(土)午後1時~3時
場所:あびさん・サロン
大阪府住吉区我孫子3丁目
最寄り駅=JR阪和線「我孫子町駅」下車
東へ徒歩5分
内容:視力障害者と共に~知りたいことあれこれQ&A
会費:1000円(おやつ代・ゲーム経費など含む)
パネラー:速水 弘氏(白杖の歩行訓練士)
申し込み締め切り:7月27日
申し込み・問い合わせ先:山本篤江 ☎06-6692-8411

■「サロンつるみ」8月の出会い

日時:8月4日(日)午後1時30分~4時
場所:鶴見会館2階
大阪府鶴見区横堤5-5-51
(地下鉄鶴見緑地線横堤駅5番出口)
内容:中途失聴と私
パネラー:谷口政美氏(「サロンつるみ」スタッフ)
会費:なし
問い合わせ先:鶴見区社協(ボランティア・ビューロー)
田村 ☎06-6913-7070

■「サロン・にしよど」8月の出会い

日時:8月24日(土)午後1時30分~3時30分
場所:「ふくふく」
西淀川区千舟2-7-7 西淀川区在宅サービスセンター
内容:未定
会費:なし
問い合わせ先:西淀川区在宅サービスセンター「ふくふく」
担当=巽

■「サロンいたみ」8月はお休みです。

来
て
!
買
い
に



「さろん亭」の売り上げは<サロン・あべの>の活動資金になります。みんなそろって、8月4日「さろん亭」へ買いにきてください。

さろん亭

あべのカーニバル
なんでも市通り

連絡先 富田慶子 545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 TEL/FAX 06-6691-1028

FROM EDITOR

編集後記

もうすぐ8月4日。さろん亭のオープンです。そこでもう1度お願い事のおさらいをしておきます。タオル・石鹸など売れ筋の品物の提供を。あまり日にちがありませんが、ご連絡くだされば取りに行きます。またこわれるものでなければ送料着払いで送っていただいても結構です。そして、8月4日3時。お揃いで、さろん亭へ買いに来てください。(石)

<サロン・あべの>Vol.193 発行：平成14(2002)年7月20日 定価¥100
編集人：<サロン・あべの>運営委員会 表題：井上憲一・筆 文中イラスト：石田美禰子
事務局：〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 富田慶子方 <サロン・あべの>
TEL・FAX 06-6691-1028 郵便振替口座：サロン・あべの 00950-9-26941
印刷：セルフ社〒546-0044大阪市東住吉区北田辺町4-23-2ミスターDビル2階TEL06-6719-8212

一九九二年九月三日第三種郵便物認可(毎日発行)